



Jun-

おかむら通信 182号

令和2年6月号

<ご挨拶>

*みなさま、新型コロナウイルスとの戦いで、精神的にも、肉体的にも大変お疲れでしょう。実際の感染者数を予測してみました。

松戸市の人口 約49万

世の中で言われているコロナ抗体陽性が0.9から5%（現段階で）。

抗体から計算すると、少なくとも0.5万人以上多くて2.45万人が感染していることとなります。

公式発表では、松戸の感染数、116（05/29）。

少なくとも、5000人感染ですので、あと4900人はどこかに潜んでいることとなります。約100人に1人存在することとなります。

やはりまだまだ解除されたとはいえ、3密はさけましょう。気を抜かないようにね。

*今月から、市の検診が可能になりました。胃がん健診（内視鏡専門医による精密な精査）もできます。（対象年齢等の制限があります。）

<今月の言葉>

当院も、必死にスタッフ一同、毎日毎日戦っていますよ。新しく加わった庸介先生とともに。負けるものか！？

院長

<院長から>

- 1 少しずつ、コロナの勢いが衰えてきているきざしもあります。この間に、われわれも、気を抜かずに、頑張っていきましょう。みなさま、医療機関にかかりたくても、こわくてかかれぬ方が少なくないようですが、当院でも感染しないあらゆる工夫をしてお迎えしてゆきます。
- 2 コロナではない疾病で、当院にかかれなくなった患者さんのために、在宅での診察を先月より、はじめました。クリニックと同じように、ご自宅で診察し、採血、お薬の処方などを適宜行います。
- 3 このおかむら通信を始めた意味は、外来で十分なお話ができないので、それを補い、患者さんからの質問に答え、医師からお伝えしたいことを知っていただくためです。





皆様に、宣伝や教育指導しようとか、思っではありません。
できるだけ同じ目線で、理解しあう事を目的としています。

- 4 実は、この30年間、お上は、巧妙に、医療費をけずって、医師の数を減らしていますが、間違っていると思います。私はこのクリニックを運営してきて、ひしひしと感じています。諸外国へ勉強にいつてきてみて、他国の医療に対する姿勢が大分違うのです。それは弱い立場の方々に対する愛情、やさしさなどです。
- 5 残念ですがある患者さんで、「いつまで薬を飲まなければならないのか？もうやめたい、」と強く主張されたかたがいました。大変危険な、お考えです。私の方で、もっと、疾患についての説明をすべきだった、と思います。
- 6 運動をしましょう、コロナとの戦いをしている間に、いつの間にか肥満傾向になったり、精神的にイライラが継続したり、それぞれの疾患（糖尿病・高血圧・腎機能・全身動脈硬化・肺疾患・肝とすい臓病変など、）が知らず知らずのうちに悪化してしまう事のないように。例えば スクワット日に150回とかご自身で決めて！

<5月の院長の活動> 活動自粛要請のためほぼできませんでした。

13/ (水) 東葛みらい、呼吸器内科 亀山先生のところへ、

25/ (月) 松戸市小児夜間急病センター外来勤務 20時から23時まで



今世界中が大変な時であが
自分自身を大切にして下さい。

私はお家でYouTubeを見ながら

ストレッチ等をしています。いろんな
種類があるので飽きずに
続けられています。

— 担当 木村 —

